

平成28年度 決算

平成28年度の決算が9月定例議会にて認定されました。決算は、みなさんが納めた税金や国・県からのお金がいくらか入った、どのように使われたか、市の財政状況を見るための資料です。普通会計を中心に、特別会計、公営企業会計についても決算の内容をお知らせします。

※ここでの普通会計とは、「一般会計」と「住宅新築資金等貸付事業特別会計」を合わせたものです

※決算額は1万円未満を省略

■問い合わせ先 財政課 ☎(36)1104

普通会計 決算

平成28年度の歳入決算額は340億565万円（前年度比6・5%減）で、これに対し、歳出決算額は332億4336万円（前年度比7・3%減）でした。歳入から歳出を差し引いた7億6229万円、その内の1億2803万円は、平成29年度に繰り越した事業の財源です。残りの6億3426万円が純粋な繰越金（実質収支）となります。

地方交付税・ 国県支出金

国や県から得られる収入です。地方交付税は市が自由に使えるお金で、歳入総額の21・5%を占めています。国県支出金は使い道が決められていて、歳入総額の24・3%を占めています。国県支出金は前年度と比べ2・1%、1億7641万円減少しています。主な要因として、宗像ユリックス施設改修事業や東郷駅前広場整備事業の社会資本整備総合交付金の減少が挙げられます。

市債

市が金融機関などから借り入れたお金です。前年度と比べ21・1%、6億1990万円減少しています。主な要因として、公営住宅建設事業債と臨時財政対策債の借入額の減少が挙げられます。

寄附金

一般の人や企業から市に寄附されたお金です。前年度と比べ130・7%、3億9166万円増加しています。主な要因として、ふるさと寄附の増加が挙げられます。

投資的経費

道路や橋りょう、公園、学校など公共施設などの整備や災害復旧にかかるお金です。前年度と比べ18・3%、7億6767万円減少しています。主な要因として、市営住宅建替事業費、保育所施設整備補助金の減少が挙げられます。

積立金

公共施設の改修や市債の繰上償還のために積み立てたお金です。前年度と比べ63・1%、12億8259万円減少しています。主な要因として、公共施設等維持更新基金積立金の減少が挙げられます。

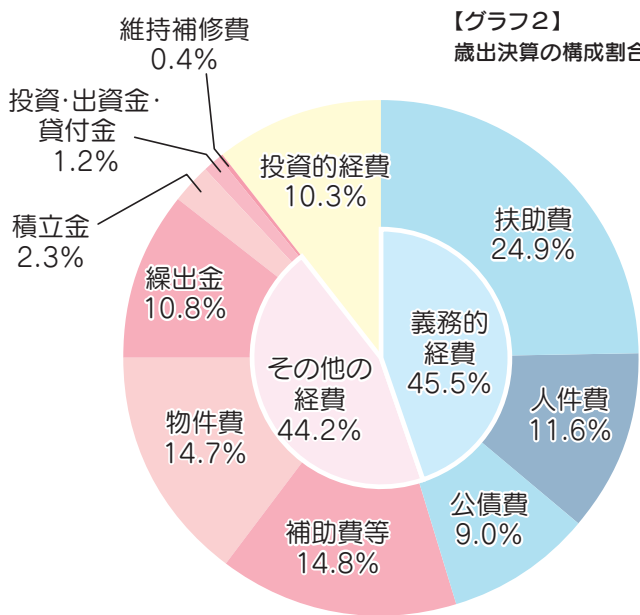
公債費

市債の返済にかかるお金（元金、利子）です。前年度と比べ32・2%、14億2295万円減少しています。主な要因として、繰上償還を実施しなかったこと



歳出

【グラフ2】
歳出決算の構成割合



扶助費

生活保護の他、高齢者、児童、障がい者らに対する福祉サービスにかかるお金です。前年度と比べ7・6%、5億8172万円増加しています。主な要因として、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費、

歳入

総額340億565万円

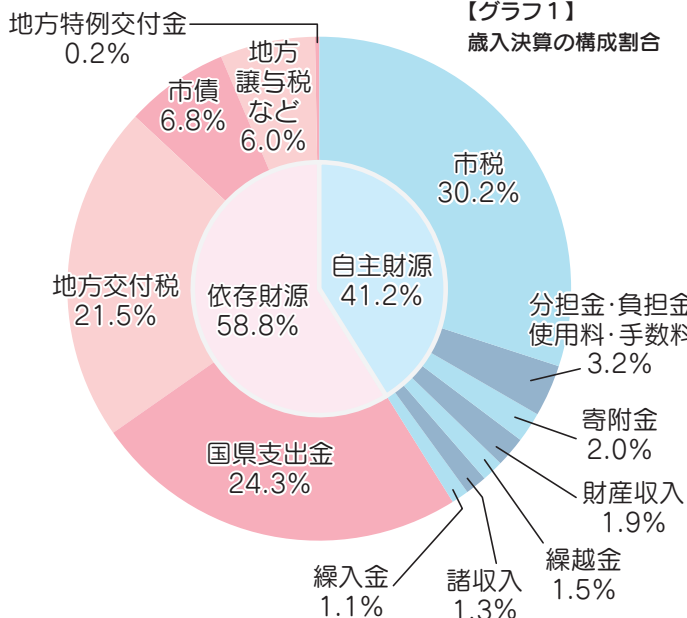
普通会計の歳入総額は、340億565万円、23億7068万円減少しています。主な要因として、繰入金、市債の減少が挙げら

市税

市税には、市民税や固定資産税などがあり、歳入総額の30・2%を占めています。前年度と比べ1・6%、1億6369万円増加しています。主な要因として、新築家屋の増加による固定資産税の増加が挙げられます。

れます（グラフ1、表1参照）。

【グラフ1】
歳入決算の構成割合



市民 1 人当たりの貯金と借金

貯金は約**20.9万円**(前年度から0.9万円増)

▽政令市を除く県内26市中、多い方から8位（普通会計）
▽基金残高＝総額**202億2,564万円**

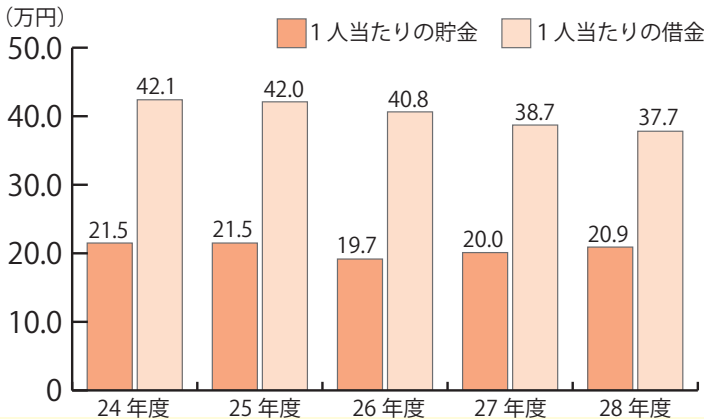
市の貯金である基金残高は、総額で202億2,564万円（一般会計192億9,277万円、特別会計9億3,287万円）で、前年度と比べ4.8%、9億2,106万円増加しています。県内他市に比べ高い水準を維持していますが、老朽化する公共施設などの更新や、人口減少に伴う市税などの収入の減少に備えて、慎重に活用していく必要があります。
* 全会計の基金残高を、市の人口9万6,657人（平成29年3月31日現在）で割った金額

借金は約**37.7万円**(前年度から1.0万円減)

▽政令市を除く県内26市中、少ない方から3位（普通会計）
▽市債残高＝総額**364億1,555万円**

市の借金である市債残高は、総額で364億1,555万円（一般会計250億80万円、特別会計9億5,550万円、企業会計104億5,925万円）で、前年度に比べ2.5%、9億3,550万円減少しています。将来世代へ過度の負担を残さないよう、市債発行額の抑制を実施しながら、今後も継続的に市債残高の縮減に努めていく必要があります。
* 全会計の市債残高を、市の人口9万6,657人（平成29年3月31日現在）で割った金額

【グラフ3】市民 1 人当たりの貯金と借金の推移



【表1】歳入決算の前年度比較

歳入項目		28年度決算額	27年度決算額	増減率
自主財源	市税	102億7,376万円	101億1,007万円	1.6%
	分担金・負担金・使用料・手数料	10億8,641万円	11億1,364万円	△2.4%
	寄附金	6億9,142万円	2億9,976万円	130.7%
	財産収入	6億3,498万円	6億8,009万円	△6.6%
	繰越金	4億9,649万円	6億9,054万円	△28.1%
	諸収入	4億5,896万円	4億 391万円	13.6%
	繰入金	3億6,488万円	18億5,075万円	△80.3%
	小 計	140億 690万円	151億4,876万円	△7.5%
依存財源	国県支出金	82億7,312万円	84億4,953万円	△2.1%
	地方交付税	72億9,180万円	74億9,925万円	△2.8%
	市債	23億1,230万円	29億3,220万円	△21.1%
	地方譲与税など	20億5,299万円	22億8,043万円	△10.0%
	地方特例交付金	6,854万円	6,616万円	3.6%
小 計		199億9,875万円	212億2,757万円	△5.8%
合 計		340億 565万円	363億7,633万円	△6.5%

▽自主財源＝市の独自財源、自前の収入
▽依存財源＝国などから割り当てられる財源。自らの努力で増やすことができない収入

【表2】歳出決算の前年度比較

性質別歳出項目		28年度決算額	27年度決算額	増減率
義務的経費	扶助費	82億8,010万円	76億9,838万円	7.6%
	人件費	38億5,851万円	38億6,138万円	△0.1%
	公債費	29億9,864万円	44億2,159万円	△32.2%
	小 計	151億3,725万円	159億8,135万円	△5.3%
その他の経費	補助費等	49億3,306万円	49億8,631万円	△1.1%
	物件費	48億9,521万円	47億7,893万円	2.4%
	繰出金	35億8,159万円	34億7,258万円	3.1%
	積立金	7億5,151万円	20億3,410万円	△63.1%
	投資・出資金・貸付金	4億 183万円	2億6,654万円	50.8%
	維持補修費	1億1,578万円	1億6,523万円	△29.9%
	小 計	146億7,898万円	157億 369万円	△6.5%
投資的経費		34億2,713万円	41億9,480万円	△18.3%
合 計		332億4,336万円	358億7,984万円	△7.3%

▽義務的経費＝支出が義務付けられている固定的経費
▽投資的経費＝将来に資産として残るものに支出する経費

特別会計・公営企業会計決算

特別会計と公営企業会計の決算額については、表3の通りです。普通会計と合わせた全会計の財政規模は、歳入・歳出共に減少しています。

【表3】特別会計・公営企業会計決算

【特別会計決算】 * 国民健康保険税や介護保険料などの特定の収入があり、一般会計と分けて収支を明確にした会計

会計名		歳入	歳出
国民健康保険	事業勘定	122億6,795万円	118億8,590万円
	直営診療施設勘定	7,531万円	7,452万円
後期高齢者医療		14億9,658万円	14億5,359万円
介護保険	保険事業勘定	74億4,609万円	72億7,108万円
	介護サービス事業勘定	4,535万円	4,366万円
宗像市・福津市介護認定審査会		4,820万円	4,820万円
渡船事業		8億3,838万円	8億3,838万円
漁業集落排水処理施設事業		2億6,407万円	2億6,388万円

⇒ 参 照 6 詳細はページは
⇒ 参 照 7 詳細はページは

【公営企業会計決算】 * 民間企業と同様に、事業収益で運営する会計

会計名		収入	支出
下水道事業	収益的収支	28億 391万円	23億6,960万円
	資本的収支	3億9,636万円	13億5,537万円

* いずれも普通会計以外の会計です
* 公営企業会計は、消費税抜きで表示



50歳を過ぎたら PETがん健診適齢期

PET検査の特徴

- ①がん早期発見
- ②一度にほぼ全身チェック
- ③苦痛なく短時間(3.5時間)

是非、このような方はご検討ください

- ・健康状態に不安のある方
- ・がん家系の方
- ・安心したい方
- ・人間ドックやがん検診を受けていない方
- ・がん経験者(現在症状はないが再発・転移を確認したい)

資料請求
お問い合わせ

①お電話ください
0120-66-2503

②インターネットにて
北九州PET 検索



PCサイト

一般財団法人 西日本産業衛生会 北九州PET健診センター
〒803-0812 北九州市小倉北区室町3-1-2

断熱セラミック「GAINA」塗装セミナー開催のご案内

TV「大改造!! 劇的ビフォーアフター」で紹介

宇宙の技術を暮らしの中へ

お住まいの不満を解消する魔法の塗料!

「GAINA」の効果

- 暑い・寒い・うるさい・汚い・臭いといった不満を改善
- 省エネ・CO2削減に寄与

- ・場 所：当社ショールーム
- ・日 時：11月11日(土) 10:00～17:00(1クール約1時間)
- ・内 容：ガイナ効果諸実験
- ・特 典：Tポイント 300P 贈呈
- ・受講料：無料 ※事前予約必要

「GAINA」認定施工店

認定番号：D-40-0078

(株) リフォーム イレブン 担当：中川

宗像市田熊1-4-20

☎：0120-4039-11

FAX：0940-36-8007

URL：http://www.reform-11.co.jp

※モデルルーム有り。いつでもご案内します

